

1 段目：児童、2 段目：生徒、
3 段目：保護者、4 段目：職員
() 内は2回目のアンケート結果

(評定) 4 達成 3 おおむね達成 2 基準までもう少し 1 達成不十分

重点 目標	評価項目	評価指標	評定		学校の自己評価と改善策	学校関係者評価コメント
			指標	総合		
確かな学力の定着	1 4つのチェックポイントを意識した日常授業の改善に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 1 単位時間の授業の中での一人一人の理解度の評価 授業における学習内容の定着や習熟を図る時間の設定 指導内容の精選 文章を早く正確に読み取る力の育成 	3. 2	3. 6	1 4つのチェックポイントを意識できるように、自分が目にするところに掲示をするようにする。 2 小中学部においては、全国学力調査・県学力調査、さらに中学部では、「県数」「県英」テストなどのたくさんの検査をもとに指導を行っている。 3 過去問にも取り組ませるように共通理解を図った。 4 B問題の指導も必要だが、本校の場合、A問題についての指導もかなり必要であると考える。 5 行事の見直しを行い、授業時間の確保につながった。 6 10、11月に行事が集中しすぎていて、指導と評価が難しい状況にある。 7 文章を早く正確に読み取る手立てとして、様々な文章を早く読んだり、文章の要約指導を行ったりしている。 8 検査結果到着後、個別指導を行い一人一人と話し合いを行った。 9 小学部各学年、中学部各教科担当が適宜ICTを活用している。 10 チームによる課題の応じた研修スタイルを実施している。全員公開授業を実施し、授業改善に努める。 11 放課後に時間の余裕ができたため、個別指導の時間や教材研究の時間に充てているが、いろいろな取り組みを検討中である。 12 各月末に職員が行事等に関して評価する時間を設け、学期末の反省に生かしている。必要であれば、行事の精選を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 自立できる子どもの育成のためには、基礎的な学力を身に付けることが基本ではないだろうか。 業務の見直しをされていることは素晴らしい。 ホームページのさらなる活用もお願いしたい。
	2 学力調査の分析と学習指導の工夫改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 学力検査結果の分析を活用した個別指導の充実 デジタル教材、ICT活用の推進 読書・作文指導の充実 校内研究を通じた全職員による指導方法の工夫・改善 	3. 2	3. 1 (3.4)		
	3 業務の見直しを推進し、指導と評価に集中できる環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> 校時程の変更による教材研究、個別指導の時間の確保 部活動従事時間、行事の見直し、内容の精選による時間の確保 	3. 2	2. 6 (3.1)		
明るく楽しい学校生活	1 あいさつの大切さに気付かせ、すすんであいさつする児童生徒を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> あいさつは、「いつでも、どこでも、誰にでも、心を込めて、明るいあいさつ」の意識付け 	3. 0	3. 4 (3.4)	1 朝の立番指導であいさつの仕方の指導を行っている、あいさつができない児童生徒には個別に指導をしている。自らあいさつをできるよう今後も指導していく。校内でのあいさつについては、声を出したあいさつと会釈を時と場合によって使い分けていくよう指導を継続していく。 2 毎月アンケートを実施し、事案ごとに組織的に対応している。 3 主題研究で、相互授業参観など小中連携した道徳指導の充実を図っている。 4 朝の会や帰りの会で、聞き方や言葉かけの指導を行っている。今後ソーシャルスキルトレーニングの実践について研修していく。 5 清掃活動を縦割班で行い、上級生が指示を出すようにしている。無言清掃が徹底され、短時間で集中して清掃活動に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> 素直な児童生徒たちであるが、積極性、リーダーシップをもう少し身に付けていくとよい。小学部5、6年生の活躍の場をもう少し設けていくとよいのではないだろうか。 地区のつながりが希薄になってきている現状もあり、子ども同士の遊び、付き合い方も変わってきているようである。 あいさつはとてもよい。できるだけこちらからも声かけをしている。
	2 毎月アンケートを実施し、積極的ないじめ・不登校等対応を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の児童生徒観察(ちょっとした変化も見逃さない) 生徒指導の三機能を生かした指導 道徳的実践力に繋がる、道徳科・道徳の授業時間の充実 ソーシャルスキルトレーニングの実施 	3. 2	3. 3 (3.4) 3. 2 (3.4)		
	3 一生懸命掃除に取り組む児童生徒100%をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> 役割と責任を自覚させる工夫 班長を中心とした主体的な清掃態度の育成 	3. 0	3. 5 (3.4)		

重点 目標	評価項目	評価指標	評定		学校の自己評価と改善策	学校関係者評価コメント
			指標	総合		
健康教育の推進	1 体育授業における三納っ子ウォーミングアップ運動の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・体育授業における指導方法の工夫・改善 ・体力テストを活用した体力向上プランの作成 ・専門家を招聘しての指導の充実 	3. 3	3. 7 (3.7)	1 給食では、豆や野菜が多く使われているおかずを苦手とする児童生徒が多いが、担任の指導のもと、嫌いなものもできるだけ食べるようがんばっている。 2 栄養教諭の協力を得、全学年に食育の授業を実施している。その後の指導に活かして、好き嫌いなく食べようとする意欲につなげたい。来年度も継続して実施したい。 3 交通安全教室を小中それぞれで実施し、中学部は年度初めに自転車点検及び交通法規・自転車の乗り方についてテストを行っている。また、登下校の様子を教職員と地域の方々で見守っている。 また、防災教育については生徒指導部と連携して行いたい。 4 三納っ子ウォーミングアップについては、実施方法の工夫、内容の検討が必要である	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の児童は外で元気よく遊んでいる様子を見かける。 ・小中学生とも自転車乗車のマナーには気をつけさせたい。 ・中学部校舎正門からの下校時には注意が必要。特に薄暮の時間帯は生徒が見えにくい状況にある。
	2 安全指導の充実を図り、自転車事故ゼロをめざす。	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室の計画的な実施・指導の徹底 ・交通ルールを守る指導の徹底 ・自転車通学に関するルールの遵守 	3. 3	3. 6 (3.6)		
	3 栄養の大切さを理解させ、食生活の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭と連携した食育の推進 ・成長期に必要な栄養バランスの理解 ・給食の時間の指導の工夫・改善 	3. 3	3. 0 (3.1) 3. 2 (3.2)		
ともに子どもを育てる学校づくり	1 学校からのお知らせやホームページを活用し、積極的に情報発信をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校からのお知らせ、ホームページの充実 ・学校参観、懇談の充実 ・鑑賞教室等の保護者や地域への紹介及び参加呼びかけ 	3. 3	3. 6 (3.5)	1 性教育や食育、薬物乱用防止教室、救急法講習会等、外部指導者との連携を図りながら児童生徒への指導にあたる事ができた。次年度も是非継続して行いたい 2 朝の登校時に教員と地域の方が交差点に立ち、交通安全指導を実施している。また、PTA の代表の方と月に2回校区内の巡回を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・三納地区の特色ある学校づくりに向けて、地域づくり協議会や学校、保護者、行政が一体となって児童生徒の育成に尽力するような取組が望ましい。イニシアチブをどこがとっていくのかが今後の課題の一つでもある。
	2 地域の教育力を発掘し、外部指導者としての協力を仰ぐ。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材情報の収集 ・全職員での情報共有 ・学校行事での地域人材・素材の活用 ・「さいと学」の充実 	3. 3	3. 5 (3.6) 3. 0 (3.0)		
	3 「本校PTA活動」「三納地域づくり協議会」「三納地区民生委員児童委員協議会」との役割分担と連携を進め、ともに三納っ子を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への児童生徒の参加促進 ・見守り隊との連携 ・地域行事の企画における学校側の協力 ・学校関係者評価委員会の充実 ・家庭と学校の役割を分担し、児童生徒をともに育てる環境 	3. 3	3. 3 (3.2)		